

W-813 取扱説明書

W813-2407

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°C で使用した場合)
- 使用電源: USB ケーブル Type-C
入力: AC100-240V 50/60Hz 0.3A
出力: DC5V 1.5A
- 消費電力: 7.5W
- 補助電池: コイン型リチウム電池 (CR2032) 1 個 (電池別売)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40°C ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 時刻表示: 12 時間制表示、または 24 時間制表示
- カレンダー表示: 2000 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日 (フルオート)
- 温度計: 表示範囲 -9 ~ +50°C ※-9°C より低いと [LL]、
+50°C より高いと [HH] を表示
精度 ±2°C (-9 ~ +50°C の範囲)
- 湿度計: 表示範囲 20 ~ 95%RH (%RH は相対湿度の単位です)
※20%RH より低いと [LL]、95%RH より高いと [HH] を表示
精度 ±10%RH (20 ~ 95%RH の範囲)
- 夜間2段階自動減光機能: 午後 8 時 00 分 00 秒 (20 時 00 分 00 秒)
~ 午後 10 時 59 分 59 秒の間、通常時の光量の 70%
午後 11 時 00 分 00 秒 (23 時 00 分 00 秒)
~ 午前 6 時 59 分 59 秒の間、通常時の光量の 40%
- 置掛兼用: スタンド付き

掛け具取付用ガイドのご使用方法について

テープなどで壁に貼る

取扱説明書 (この用紙です)

掛け具 x 2個

本体

時計本体を取り付けたい場所に、本取扱説明書を貼り(掛け具取付用ガイド)の壁掛け部中心線に合わせて、壁面に掛け具を取り付けて頂く事が出来ます。本体裏面の壁掛け部の2点間の距離と水平垂直の確認にご使用下さい。

※テープなどで壁に本取扱説明書を貼り付けてご使用になる際は、テープを剥がす際に壁面を傷めないように充分ご注意ください。

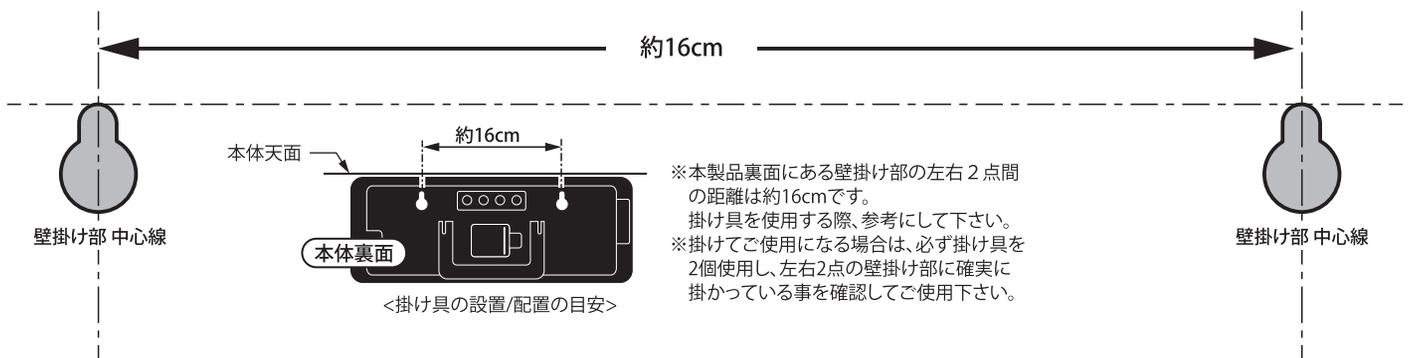
壁掛け部中心線の上を目安に、2本の掛け具が水平になるように取り付けます。

※掛け具は付属していません。

掛け具取付用ガイド

※掛け具を取り付ける際に目安としてご使用下さい。

本体天面の目安位置



表示画面のご注意



注意

障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容



禁止

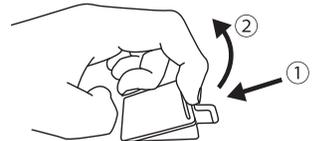
- 表示画面を凝視しない
目に悪影響を及ぼす恐れがあります。

補助電池について

- 補助電池は、停電などの一時的(30分以内程度)にAC電源からの通電が止まった場合の、時刻のバックアップ用です。
- 補助電池のみでの使用の場合は時刻表示をしません、時計内部で時刻を計測しています。通電後は経過時間を加えた時刻を表示します。
※停電などで通電が遮断された後、補助電池を使用していない場合は、再通電すると時刻が12:00で表示します。このような場合は、再度設定し直して下さい。
- ※補助電池が無い状態で通電が遮断された場合でも、製品内部の電気が完全に放電されていなければ、再通電したときに時刻のバックアップが働くことがあります。

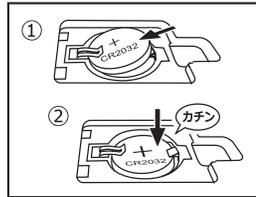
電池フタの開け方

電池フタを開けるときは、
①の矢印に方向に押しながら
②の矢印の方向に引き上げて
開けて下さい。



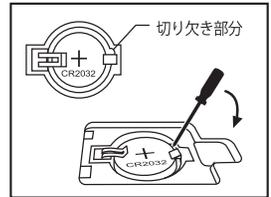
電池の入れ方

補助電池を入れるときは、⊕表示を上にしてパネの下に差し込んで反対側の端を押しして下さい。



電池の外し方

補助電池を外すときは、切り欠き部分にドライバー等の先の細いモノを差し込んで引き上げて下さい。



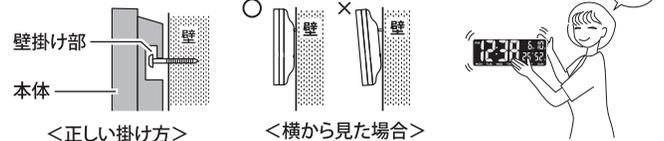
時計の掛け方について



注意

掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
 - 時計は垂直・水平に掛けて下さい。
 - ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
 - 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
 - 壁の裏側に電気配線等がある場所に取付けると、掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取付けて下さい。
 - 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
- ※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



注意

表示画面を凝視しないで下さい。
目に悪影響を及ぼす恐れがあります。

本体正面



■PM(午後)表示: 12時間制表示のとき点灯します。
※AM(午前)は点灯しません。

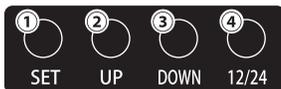
■時刻表示: 時/分を表示します。

■カレンダー表示:
月/日を表示します。

■温度湿度表示:
本体内蔵のセンサーにより
温度と湿度を表示します。

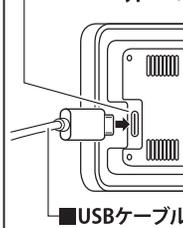
■曜日表示: 当日の曜日が緑色に光ります。

裏面操作ボタン部拡大図

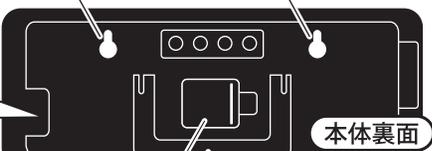


- ①SETボタン: 時刻設定に使用します。
- ②UPボタン: 設定操作中に1回押しごとに項目を加算します。
- ③DOWNボタン: 設定操作中に1回押しごとに項目を減算します。
- ④12/24ボタン: 12/24時間制表示の切替に使用します。

USB端子 (USB Type-C)



■壁掛け部 ※掛け具を使用する際は、
本書「時計の掛け方について」を参照して下さい。



スタンド

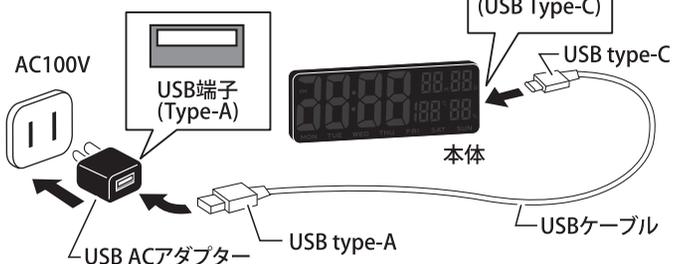
※スタンド
使用例

■電池フラップ(補助電池用)

※電池のみでは表示は点灯しません
※コイン型リチウム電池(CR2032)1個を⊕表示を上にして入れて下さい。
※本書「補助電池について」を参照して下さい。

ご使用方法

- ①本体正面左下のラベルと透明保護シートを剥がして下さい。
- ②付属のUSBケーブルのUSB Type-C側を本体のUSB端子(USB Type-C)に差し込んで下さい。
- ③USB Type-A側を付属のUSB ACアダプターに接続し、コンセント(家庭用電源AC100V)に差し込んで下さい。
→表示が点灯し、本体が起動します。



12/24時間表示切替

通常時刻表示のときに12/24ボタンを押すと、12/24時間表示を切り替えることができます。

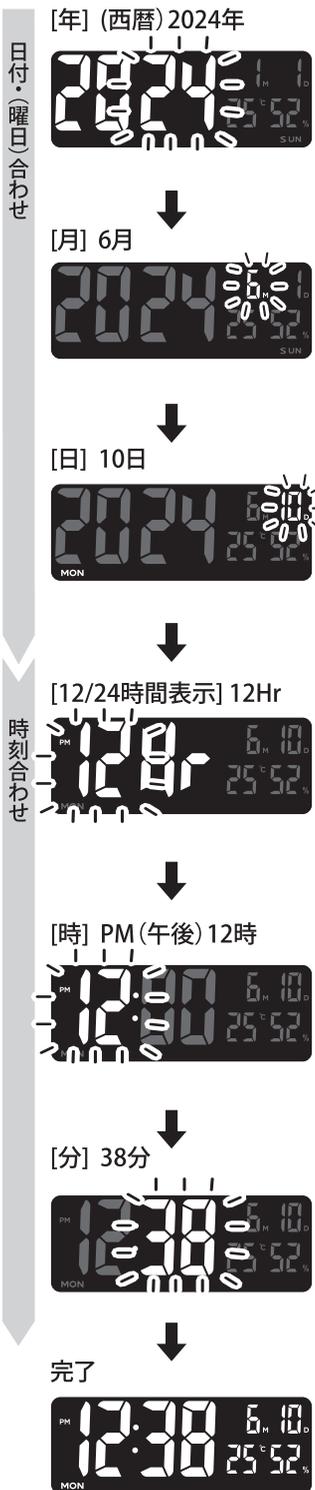
夜間自動減光機能

表示時刻が午後8時00分00秒(20時00分00秒)から、翌朝の午前6時59分59秒までの間、LEDの光量を自動的に抑えて、まぶしさを軽減します。
※午後8時00分～午後10時59分の間は、通常の光量の約70%。
午後11時00分～午前6時59分の間は、通常の光量の約40%で点灯します。
※内蔵ICで制御されていますので、時間の変更は出来ません。
※時刻設定時に午前と午後の設定を間違えると、夜間自動減光機能が夜間に作動しなくなります。

※設定中の点滅は約15秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。
※曜日は[年(西暦)・月・日]を設定すると自動で設定されます。

1. 設定モードに入る
①通常時刻表示のときにSETボタンを2秒以上押しと[年]が点滅し、日付/時刻の設定モードに入ります。

[例] 2024年6月10日(月)
午後12時38分を設定する場合



2. [年(西暦)]を設定する
①[年]が点滅している間にUPボタン/DOWNボタンで[年]を合わせて下さい。
②SETボタンを一度押しして下さい。
※UPボタン/DOWNボタンは、長押しすると早送りします。
3. [月]を設定する
①[月]が点滅している間にUPボタン/DOWNボタンで[月]を合わせて下さい。
②SETボタンを一度押しして下さい。
4. [日]を設定する
①[日]が点滅している間にUPボタン/DOWNボタンで[日]を合わせて下さい。
※この時点で正しい曜日が緑色に点灯します。
②SETボタンを一度押しして下さい。
5. [12/24時間表示]を設定する
①[12Hr]または[24Hr]が点滅している間にUPボタン/DOWNボタンで[12/24時間表示]を設定して下さい。
②SETボタンを一度押しして下さい。
※[12/24時間表示]は通常表示の時に12/24ボタンを押す事で切り替える事が出来ます。
6. [時]を設定する
①[時]が点滅している間にUPボタン/DOWNボタンで[時]を合わせて下さい。
※午前と午後を間違えないように注意して下さい。
②SETボタンを一度押しして下さい。
7. [分]を設定する
①[分]が点滅している間にUPボタン/DOWNボタンで[分]を合わせて下さい。
※UPボタン/DOWNボタンを押すごとに[秒]が00に設定されます。
②SETボタンを一度押し。

以上で設定が完了します。
※曜日が合っていない場合は[年(西暦)][月][日]の設定を見直して下さい。

温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、注意して下さい。